

AOTS ウェビナー TRTH01  
**タイ向け製造現場における省エネルギー活動**

主催：一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）

一般財団法人海外産業人材育成協会（AOTS）は、主に海外の産業人材を対象とした研修および専門家派遣等の技術協力を推進する人材育成機関です。これらの事業を通じて、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与します。

**概要**

本ウェビナーは、一般財団法人海外産業人材育成協会(AOTS)が経済産業省の「低炭素を輸出するための人材育成支援事業」のスキームとして実施する協会企画型海外研修コースの1つです。本事業は新興国等の製造企業の現地人材を育成することにより、日本の省エネ技術の海外展開を促進し、産業分野におけるエネルギー利用の効率化を図り、温室効果ガスの排出削減に貢献することを目的に実施します。

本ウェビナーは、日本の自動車、産業機械及び電気機械分野の中小企業・中堅企業のタイの関連企業に勤める省エネ活動を生産現場で展開する立場にある経営幹部、工場長、生産現場管理者、専門家等である参加者が、生産設備等の運用改善や設備の性能改善、その具体的な手法を学ぶことで、参加者所属企業の生産現場において省エネ化を実現させることで、申込企業である日本の中小企業・中堅企業のタイで事業展開を推進することを目的としています。

\*参加資格の詳細はP1～2をご参照下さい。

**ねらい**

- 1) 生産現場における省エネルギー（電力削減）によるCO<sub>2</sub>削減を目的として、日本の製造業企業で実践されている設備の運用改善、設備の性能改善・更新や、電力削減手法について学ぶ。
- 2) 計測データを利用した電力消費量の見える化、削減目標管理とその推進体制、日本企業が実践する省エネ改善事例を学ぶ。
- 3) 本コースで学んだことを活かし、参加者が省エネルギーチェックリスト等を用いて、自社におけるエネルギー使用状況を調査し、自社の生産現場での省エネ活動推進の行動計画を策定して最終発表を行い、講師よりフィードバックを受けることで本セミナー後の実践につなげる。

**日時**

\*詳細日程は、P3をご参照ください。

\*原則、全4回の日程全てに参加できる方のみ、お申込みが可能です。

\*時間は全日程共通で9:00-12:00（タイ時間）です。

- 1日目：2022年3月7日（月）
- 2日目：2022年3月9日（水）
- 3日目：2022年3月11日（金）
- 4日目：2022年3月15日（火）

**対象国・地域/ 参加定員**

タイ / 25名程度

**申込企業、参加者所属企業、参加者の参加要件**

\*本研修は、日本国内の法人を通じてのお申し込みと参加費用のご負担が必要です。（海外法人から直接お申込みすることは出来ません）

以下、全ての参加要件を満たすことが必要です。

- (1) 申込企業(日本国内の法人)及び参加者所属企業(タイ国内の法人)は、自動車、産業機械及び電気機械分野(三業種：以下\*1)の企業もしくは三業種企業のサプライヤー企業であること。
- (2) 申込企業は日本の中小企業または中堅企業(以下\*2)であること。
- (3) 参加者所属企業は申込企業と資本関係か取引関係または技術提携契約等の関係があること。
- (4) 参加者は、三業種製品あるいは三業種向け製品生産ラインを管轄もしくは担当している方。
- (5) 参加者は、本研修で策定する省エネに向けた行動計画を生産現場で展開する立場にある経営幹部、工場長、生産管理者、専門家（工程管理やエネルギー管理などを担当するエンジニア等）の方。

(\*1)三業種：(1)自動車分野（自動車、自動車部品等）、(2)産業機械分野（工作機械、生産用・業務用機械等）、(3)電気機械分野（重電電器、電子・情報通信機器、精密機器、家庭電器 等）

(\*2)「中堅企業」とは中小企業以外の企業で資本金 10 億円未満の企業、「中小企業」とは中小企業基本法に規定する企業です。但し、以下のいずれかに該当する企業は対象外で、利用できません。

①資本金又は出資金が 5 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される中小企業、及び資本金又は出資金が 10 億円以上の法人に直接又は間接に 100%の株式を保有される中堅企業。

②研修申込書提出時点において、確定している（申告済みの）直近過去 3 年分の各年又は各事業年度の課税所得の年平均額が 15 億円を超える中小企業及び中堅企業。

#### [その他の参加要件]

本研修の参加者は、上記以外に以下の基本要件を満たす必要があります。

- a) タイに居住及び勤務をしている方(日本人はご参加いただけません)
- b) 会社に所属する方
- c) 年齢は 20 歳以上の方
- d) タイ語による聴講、討論、発表、報告書作成ができる方
- e) 軍に籍をおいていない方

\*本研修への申し込みに際し、以下の参加要件をご確認頂くと、その後の申し込みがスムーズです。

資格要件チェック項目		はい
1	当社(申請者)は、日本国内の法人で、研修申込および研修参加費の負担を行います。	<input type="checkbox"/>
2	当社は、参加者の所属する現地企業と資本関係か取引関係または技術提携契約等の関係性があります。	<input type="checkbox"/>
3	当社は中小企業または中堅企業であり、かつ以下①②に掲げる企業に該当しません。＊大企業はお申込みいただけません。 ①資本金または出資金が5億円以上の法人に直接または間接に100%の株式を保有される中小企業、および資本金または出資金が10億円以上の法人に直接または間接に100%の株式を保有される中堅企業 ②直近過去3年分の各年または各事業年度の（申告済の）課税所得の年平均額が15億円を超える中小企業及び中堅企業	<input type="checkbox"/>
4	当社および参加者が所属する現地企業の業種は以下(*1)記載の三業種に該当するか、または三業種企業のサプライヤーに該当します。 (*1)三業種とは、(1)自動車分野（自動車、自動車部品 等）、(2)産業機械分野（工作機械、生産用・業務用機械 等）(3)電気機械分野（重電電器、電子・情報通信機器、精密機器、家庭電器 等）を含みます。	<input type="checkbox"/>
5	参加者は、現地企業所在国に居住及び勤務をしている方で、現地企業に所属しています。	<input type="checkbox"/>
6	参加者は、以下(*2)記載の省エネに向けた行動計画を生産現場で展開する立場にあります。 (*2)研修で策定する省エネに向けた行動計画を生産現場で展開する立場にある経営幹部、工場長、生産現場管理者、専門家（工程管理やエネルギー管理などを担当するエンジニア等）	<input type="checkbox"/>
7	AOTS における個人情報の取り扱いについて、当社、参加者が所属する企業、参加者が同意しています。 AOTS 個人情報保護方針について： <a href="https://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html">https://www.aots.jp/jp/policy/privacy.html</a>	<input type="checkbox"/>
8	研修効果等について、AOTS の調査等に協力します。	<input type="checkbox"/>

## 講義内容（予定）

日 時	講義内容	担当講師
【1日目】 3/7(月) 9:00-12:00 (タイ時間)	<p>＜事前課題＞ 自社の省エネルギーチェックリストを策定</p> <p>＜講 義＞            (1)世界の現状 -地球温暖化の背景-            (2)省エネルギー活動の考え方            •企業の工場、事務所で進める省エネ活動と効果            •省エネルギー活動における経営者、管理者の役割            (3)策定した省エネルギーチェックリストへのフィードバック</p> <p>＜宿 題＞ 1日目のフィードバックを反映して、省エネルギーチェックリストを完成</p>	宇田吉明
【2日目】 3/9(水) 9:00-12:00 (タイ時間)	<p>＜講 義＞            (1)省エネルギー活動推進のための方法①            •省エネ化のためのステップ            •エネルギーの見える化            •省エネの着眼点            •継続的改善の組織への定着</p>	宇田吉明
【3日目】 3/11(金) 9:00-12:00 (タイ時間)	<p>＜講 義＞(9:00-10:00)            (1)省エネルギー活動推進のための方法②(続き)            •日本の製造現場における省エネ活動事例</p> <p>＜経営者講演＞(10:00-11:00)            (2)日本の製造業企業における省エネ活動事例</p> <p>＜演 習＞(11:00-12:00)            (3)省エネルギー活動計画策定ガイド            •課題：各社ごとに調査を行い、設備一覧表、エネルギー使用量調査表を用いて実施するエネルギー対策表を作成する</p> <p>＜宿 題＞ 自社の省エネルギー活動計画を策定</p>	中田進久
【4日目】 3/15(火) 9:00-12:00 (タイ時間)	<p>＜演習＞            (1)各社ごとの個別発表および個別フィードバック            •2グループに分かれ、各社ごとに3日目の宿題である自社の省エネルギー活動計画を発表            •活動計画についての講師からや他参加者からフィードバックを受け、完成させる</p> <p>(2)総括</p>	①宇田吉明 ②中田進久

## 講 師



**宇田吉明 講師 宇田環境経営研究所 コンサルタント**

食品会社で30年間生産技術を担当し、数々のヒット商品の開発に関わった。その後、摂南大学非常勤講師（地球環境資源論）を経て、中小企業診断士事務所「宇田環境経営研究所」を設立し、以来、中小企業の環境経営支援、品質管理指導等を行っている。特に環境経営システム「エコアクション21\*」の導入支援は全国で200社を超える実績を持っている。2020年に日本政府から低炭素社会貢献賞（環境省総合環境政策統括官賞）を、2021年には地球環境保全功労者表彰（環境大臣賞）を授与された。

\*エコアクション21：日本政府（環境省）が策定した日本独自の環境マネジメントシステム。

**中田進久 講師 宇田環境経営研究所 コンサルタント**

**NPO 法人大阪環境カウンセラー協会 副理事長**

電気機器メーカーにて約10年設備管理に従事、その後2003年からエコアクション21の普及を通じた企業の省エネ活動に携わる。現在エコアクション21大阪の事務局の普及委員。エコアクション21から刊行された「省エネハンドブック」の座長を務めた。

## 使用言語

講義はタイ語通訳付きの日本語で行われます。配布資料はタイ語で作成されます。

## 使用ツール

### Zoom ミーティング

- ✧ 参加者として選定された方にはAOTSから招待メールが送られます。招待メール内の指示に従い、ウェビナーへのご参加登録をお願いします。
- ✧ ご参加登録後、登録者には登録確認メールが届きます。メール本文にウェビナーご参加のためのボタンがありますので、当日はこのボタンをクリックしてウェビナーにご参加ください。
- ✧ ご招待メールが届かない場合は、AOTS迄ご連絡ください。

## 参 加 費

10,000円 /1名あたり \*本セミナーは経済産業省の補助金により実施されます。

## 申込方法・問合せ先

- ✧ 日本国内の法人（親会社等）を通じてのお申し込みが必要です。海外の現地法人が直接AOTSに申し込みことは出来ませんので、ご了承ください。
- ✧ 申込書を添付し、締切日迄に以下のAOTS海外協力グループ担当者迄お申込みください。

### 一般財団法人 海外産業人材育成協会(AOTS)

事業統括部 海外協力グループ (担当者：吉田ひとみ、古屋 浩 日本語、英語対応可)

E-mail: [aotswebinar-teitan@aots.jp](mailto:aotswebinar-teitan@aots.jp)

Tel : 03-3888-8256 / Fax : 03-3888-8242

住所 〒120-8534 東京都足立区千住東1-30-1

- ✧ 応募締切日後、AOTSによる参加者選考が行われ、選定された参加者には、日本のお申込み企業へメールで参加のご案内と、参加費ご請求書(PDF)をお送りします。請求書記載の指定口座宛に指定期日までに参加費をお支払いください。
- ✧ ウェビナー当日までに参加費をお支払いいただけない場合は、参加資格が取り消されることもありますので、ご注意ください。

## 申込締切日

2022年2月16（水）

締切日後、ご参加の可否について、日本のお申し込み企業宛に、AOTS 海外協力グループからメールでご連絡いたします。

## 注意事項

- ◊ 本ウェビナーの参加者には、AOTS 修了証明書が授与されます。
- ◊ 複数名で一台の PC を共有するグループ視聴が認められています。
- ◊ ご提供いただいた個人情報は、参加者の同意に基づき、AOTS の他研修プログラムの広報およびアンケート実施のために利用することができます。
- ◊ 配布資料を無断で複製、改変、配布、転載、または講義内容を撮影することは、固くお断りいたします。受講に当たっては違反行為を行わない旨、誓約をしていただきます。
- ◊ 不可避の事故（戦争、暴動、労働争議、地震、暴風雨、火災、洪水、疫病の蔓延等）やネットワーク・機器トラブル等が起こった場合、AOTS はウェビナーの実施を中止することがあります。
- ◊ ミーティング参加のために付与されるミーティング情報（リンク、番号、パスワード）は無断で参加者以外の方に譲渡しないでください。
- ◊ 参加者が、不可避の事故やネットワークトラブル等により、ウェビナーへの参加・継続が困難になった場合でも、AOTS は責任を負いません。